

編集委員

委員長 町 泉寿郎

磯 水絵

高山 節也

田中 正樹

牧角 悦子

編集後記

本誌第九号をお届する。今号は論文七編、資料紹介一編の計八編を掲載することができた。こうして刊行できたことを、学内外の関係各位に篤く感謝申し上げます。

葛継勇氏の論文は、昨年度ご投稿いただいたが諸般の事情から前号に掲載できず、今号の掲載となったものである。創刊号・前号にもご投稿いただいた杉下元明氏には、祇園南海詩に関する新知見をご投稿いただいた。竹内航治氏には今回、初めてご投稿いただいた。

二十一世紀COEの時代に연구원としてプログラムに参加された藍弘岳氏には、三号以来、久しぶりにご投稿いただいた。水上雅晴氏は初めてのご投稿になるが、COE時にその編纂に協力した北京大学「儒蔵」の事業として、同氏に校点作業を依頼した著述に関するご論稿である。終了して五年、COE時の種子がこうして様々な形で成果をあげていると見ることが許されるならば、同慶の至りである。

二〇〇四年以来、COE・ポストCOEの事務を担当し、本誌編集にも多大な貢献をされた金井晃氏が、本号をもって退任される。心よりねぎらいの言葉を捧げたい。

(町 泉寿郎)